

山名	鳥海山・月山・蔵王山	山行名	
ルート	伊丹空港→秋田空港→鳥海山→羽黒山→月山→蔵王→仙台空港→伊丹空港		
山行日	2019.7.26(金)～7.29(月)。3泊4日。	天候	晴れ/曇・霧/曇・雨/晴・雨
参加者	リーダー(山下隆) サブリーダー(広瀬秀憲) 会計(玉井美智子)、記録(伊藤多恵子)、総合支援(丸山敏文)		合計:5名

<準備> 昨年10月時点で次年度の山行計画の募集時に概略調査。今年の3月、計画のツメを行い、4月号「かんナビ」に案内し参加者を募集。当初、仙台空港をスタートし秋田空港まわりを計画していたが、逆回りの方が体力的に無理のない山行が出来る事が判り、コースを急遽変更した。4月後半にはフライト(JAL)・レンタカー・宿を予約。フライト料金は早割り予約で75%引きの往復1.9万円。7月初めに参加者全員で最終調整の打ち合わせを実施した。

<直前準備> 悪天候で計画の山行が出来ないことを考慮し、OBで東北出身の遊佐さんの知恵を頂き山麓のパワースポット候補を20ヶ所位紹介していただき、手分けして事前調査した。又道中での買い物(食料やガスボンベ)場所の事前調査をした。

<全体> 鳥海山は9合目あたりまで行くも頂上は霧の中ゆえ撤退し羽黒山へ。月山は弥陀ヶ原散策後、雨・霧の中を頂上まで行けた。蔵王山は目玉の御釜周辺の散策後 南東方向にある花畑の芝草平をめざすも大雨に合い残念ながら撤退した。色々あって記憶に残る山行だった。東北の梅雨明けは関西より遅れるので要注意だ。下界は天気でも山では突然に悪天候に激変することを再認識した。

<費用> トータル約5.5万円/人。

<各日程でのスケジュールと概要>

○初日 7/26(金) 5合目登山口から中腹の御浜小屋まで。天気:晴。登山所要時間=2:40分。

松井山手駅 5:00→6:35 伊丹空港 7:55→9:30 秋田空港→レンタカー借用 10:00→(途中、買い物)→12:15 鉾立ビジターセンター登山口(昼食)12:55・・・(標準2:00×1.33倍=2:40分)・・・15:35 御浜小屋(散策・宿泊)

買い物;道中の象潟市内の「コメリ」でガスボンベを、隣のスーパーで食料調達。

(概要)ほぼ予定通りのタイムスケジュールで行動出来た。天気も良好だったので、御浜小屋には予定通りの時間に着く。途中では小さな雪渓が2～3ヶ所残っているもアイゼンを使う必要ナシ。眺望と高山植物を楽しみながらゆっくりと登る。花の種類は20種以上はあったようだ。山小屋の周辺は日光キスゲ・フウロ・小型のシシウド等が満開。鳥海湖の斜面には雪渓とお花畑の緑のコントラストにうっとりする。散策後は廣瀬さんが麓で仕入れたビールをご馳走になりながら、日本海に沈む夕日を眺めながら、ゆったりとした時間を楽しむ。これぞ登山の醍醐味だった。

○2日目 7/27(土); 本命の鳥海山。登山所要時間=4:40(鳥海山途中まで)+2:40(羽黒山)=7:20分

御浜小屋 5:05→(60分×1.2倍=70分)・・・6:15 七五三掛(シカケ)朝食・下山開始 6:30・・・7:50 御浜小屋(1:30×2.3倍=2:50分)。(賽の河原・鉾立展望台で大休憩)・・・10:40 鉾立登山口(昼食)11:20一(車)→13:00 宿(多聞館)13:20・・・14:40 羽黒山(標高差250m,2400段の石段、往復約8km)・・・17:00 宿(多聞館)

(概要)鳥海山の頂上をめざすも頂上方面はガスで視界不良ゆえ、七五三掛(シカケ)で勇気ある撤退となる。ここから頂上までは長い雪渓のために軽アイゼンを用意していたのに使用することもなく残念。山では天気の安定した早朝出発が常識だが、本日は逆に折り返してしばらくすると大勢の方が登って

来る。登山口鉾立に着く頃には頂上の雲はすっかり消え、下山した時は山全体の姿が現れた。悪天候対策として調べておいた羽黒山に向かう。宿に早く着き過ぎ、女将に 17 時頃にご来館下さいと懇願される。熊野古道の大門坂そっくりの風情が延々と続く羽黒山を登る。神仏習合がはっきりと現存する姿に驚嘆した。最近偶然にも読んだ「仏教抹殺」(文春新書)の一端をここに見た。宿は冷房が無く、暑さにはまいりました。

○3日目 7/28(日); 弥陀ヶ原湿原を周回後、月山頂上へピストン。登山所要時間=約9hr

宿 6:15→(車)→7:15 月山八合目駐車場 7:45・(弥陀ヶ原湿原)・9:10 月山分岐・10:26 佛生池小屋 10:40・(90×1.33 倍= 2:00.三角点寄り道)・12:40 月山頂上小屋(昼食)13:25・(2:40×1.2 倍=3:15 分)・16:40 八合目登山口。→(車)→18:15 宿(ホテルイン鶴岡)

(概要) 八合目の広い駐車場に着くと、視界は 20~50m の霧の中。車はまだ少ない。山の高所では昨日に引き継ぎ本日も霧の中。期待した弥陀ヶ原の湿原は尾瀬そっくりで、もう少し霧が晴れてくれたらと願いながら木道を歩く。キンコウカが丁度満開だった。小雨と霧の中を黙々と頂上をめざす。緩やかな傾斜なのが唯一の慰めだった。頂上小屋でゆっくりの昼食休憩をとり、意を決して、霧と雨の中を黙々と下る。今日は、視界不良で撮った写真もわずかだった。

<ヒヤリハット・安全>・標高の高い月山駐車場周辺は霧で視界が狭く、カーブの多い運転ゆえベテラン運転手にすっかりたよった。

4日目 7/29(月); 蔵王の御釜周辺散策後、芝草平へのピストンを計画。晴れ/雨/曇り。

登山所要時間; 1:15(蔵王)+3:15(芝草平方面)=4:30 分

宿 6:00→(車、寒河江 SA で 15 分朝食)→8:37 蔵王刈田岳駐車場・(刈田岳、お釜周辺散策)・9:55 刈田岳駐車場 10:05—10:10 刈田峠駐車場 10:20・登山口 10:27・11:20 前山・11:50 昼食休憩中大雨で引き返す 12:20・13:30 登山口・13:35 刈田峠駐車場 13:45—(車)—14:30 頃 JR 岩沼駅(廣瀬・伊藤 2 人と別れる)—15:20 グリンピア岩沼(入浴)16:30—(ガソリン補給と車返却)—18:00 仙台空港 19:15(JAL)—20:50 伊丹空港→松井山手駅

(概要) もっと早く出発する予定だったが、カーナビの目的地入力に 30 分以上手間取る。今日は 3 日振りの晴れで気分は爽快。蔵王の一つの刈田岳頂上のすぐ下まで車が入れて、さすが観光地。目玉の御釜の周辺を散策する。出発時の時間ロスのため熊野岳は断念し、予定時間に刈田岳駐車場に戻って来た。

すぐ側の刈田峠に車を置き、途中は大きな縞枯れ地帯を歩く。標準時間では登山口から 1:20 位で目指す芝草平の花園に着くはずだが 1:20 分歩いて、目的地はまだ 1 hr はかかりそうで、腹も減ってきたし昼食休憩とした。食事終了頃になると、雨雲が押し寄せてきて、慌てて雨具着用。戻る事とした。爆風と激雨の中をしばらく歩くと靴の中も浸水。刈田峠駐車場に戻る頃には幸いに雨はあがった。秋田空港で戴いた仙台空港近くのタイムズレンタカーの地図には転居前の事務所の位置が記載されていて、転居先の記載無し。返却場所を探すのに時間がかかり、空港には出発 45 分前に着くこととなり、かなり慌てた。今日はお釜の絶景を眺められた事以外はあまりいい事が無かったが、お釜まわりを散策中にカード・免許証・現金入りの財布を拾い、幸運にも持ち主に返却出来たという善行もあった。蔵王は観光スポットだが、芝草平—蔵王のコースは地元の方の人気コースの一つと聞いて計画したが、天気には勝てなかった。

今回の山行はきっといつまでも記憶に残る山行になるだろう。

<ヒヤリハット> ナシ。

○宿情報まとめ：

宿泊日	宿名・連絡	足の便	特 徴
7/26	鳥海山中腹 御浜小屋 0234-77-2301 神社が経営。 (直接予約)	鉾立登山口より標高 534m 地点。2:40 分 登り	鳥海湖のほitori。花畑と雪渓と絶景に囲 まれた好立地。素泊まり 4320 円。食事 持参が推奨。缶ビール 700 円。カップラーメン 500 円。7-8月のみ営業。風呂なし。ザ コネスタイル。
7/27	旅館「多聞館」 0235-62-2201 ネットで情報交換可能。 (直接予約) 羽黒山の山麓	月山八合目まで、車 約 1hr. 鶴岡市羽黒町。	外観からは想像出来ない立派な日本家 屋。2 部屋予約。精進料理。冷房ナシ。 風呂 3 人位。山伏の方々の宿坊街の一 つ。国宝 5 重の塔や羽黒山頂上まで徒 歩圏内。2 食付で税込 8100 円。
7/28	ホテルイン鶴岡 0235-29-5000 (楽天トラベルで予約)	鶴岡市内。高速道路そ ば。近場にスーパーあ り。	シングル予約。早朝出発ゆえ素泊り、税込 4600 円。大浴場あり。室内の備品類完備。ホテル 内に良心的レストランあり。駅前のホテルに 比べ、駅から離れているので、格安料金。

東北山旅感想文

まだ梅雨空の残る東北への山旅。お天気には恵まれなかったけれど、山旅の楽しさを十二分に味わって帰ることができました。それもこれも緻密な計画を立ててくれた CL 鳥海山 日没 を担いで小屋まで登ってくれた広瀬さん、カーブの多い、おまけにガスのかかった山道を運転して下さった丸山さん、会計の玉井さんと有難い仲間に恵まれたおかげです。

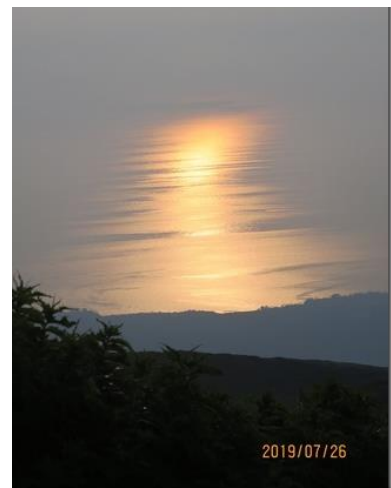
鳥海山の一日目に御浜小屋の前でゆっくりのんびり。ビールを飲みながら目前に広がる草原が風でサワサワと揺れるのを眺めたり、傾き始めた太陽が海に光の帯を映しているのを観賞したり、心地良い時間を過ごしました。また、この小屋の上側ではお花畑と雪渓と池の配置が素晴らしく、この旅一番の風景写真が撮れました。

ここで 1 首 「鳥海の 裾野の先に 海ありて 日暮れて現る 光の道かな」

二日目は雨と風とガスで頂上まで登るのを断念。プロのガイドさんが率いる一行ですら、上りでは「山があるから登ります」ときっぱり言っていたのに、やがて同じように引き返して来て「山は逃げませんから」と。物は言いようです。早々と下ったおかげで、午後から羽黒山神社を訪れることができました。これも山下さんの事前調査のおかげです。山伏の宿が連なる通りも面白く、境内では国宝五重塔を見学。杉の巨木が立ち並ぶ 2440 段の階段の参道を登りましたが、この日の暑かったの何の！でも「下ったらかき氷を食べよう！」を合言葉にみんな頑張りました。ただ、約一名、ビールに変えた人もいましたが…。

三日目、湿原に木道のかかる弥陀ヶ原を散策。まるで尾瀬ヶ原にいるようです。リュウキンカの群生に見とれ、点在する池塘に足が止まります。次第に雨と風が強まりましたが、途中の佛生池小屋で「雨は止みますか？」という客の問いに主人が答えて「雨は降ったり止んだりするものです。今日は一日こんなものでしょう。大丈夫ですから行ってらっしゃい。」これを聞いて気が楽になりました。山での風や雨も、自然の一部で、よほどのものでなければ案外楽しめるものだと思えました。そんな調子で、月山を登り切り、翌日の蔵王・刈田岳から南蔵王へのルートも気分よく歩いたのでした。

ところで、毎日誰かが「あれがない、これがない」と探し回っていたのは、シニア集団だからでしょうか？ちなみに最後の最後に電車の中にテルモスを置き忘れた私は、仙台駅の遺失物係で手続きを



して無事取り返すことができました。もちろん送料着払いでしたけど。

あっ、もう一つ忘れ物が！計画段階で飛行機に乗る前にどうやってガスボンベの処理をしようかと悩んでおられたので、高速バスで帰る私が引き受けたのはいいのですが…別れ際にはすっかり忘れてしていました。後日山下さんから届いた苦勞話です。「入浴後の駐車場でガス抜きをしたけれどボンベはドンドン気化熱で冷えるので揮発に時間がかかる。丸山さんいわく『30分はかかる！飛行機に遅れるわ！』お風呂の受付のお嬢さんに小生は泣きを入れ、最大の困った演技をする。初めはNOだったが、年寄りの泣き面に軍配があがり、ガスが少し残ったボンベを引き取ってもらえた。ホットして空港に向いました。」みなさん、すみませんでした～！

伊藤 多恵子

数年前に行く寸前で台風の為に諦めた山でした。今回山下さんの山行計画に飛びつき楽しみにしていましたが、こんなに雨に降られるとは思っていませんでした。

初日の御浜小屋ではビールを飲みながら、乾燥米飯の硬かったり柔らかすぎたり夕食や、写真を撮りながら沈む夕日を見る楽しい時間を過ごせました。

翌日の鳥海山ではたくさんの高山植物に出会えたこと、大満足でした。頂上まで行けなかったけれど早く下山した分、羽黒山の2400の階段にも登ることが出来ました。

月山では雨の中多くの登山者や白装束の信者さんが行きかうなか頂上まで登ることが出来ましたし濃霧の中無事にカーブを下れてほっとしました。

最終日の蔵王は朝から晴れて今日はラッキーと思っていたのに、杉ヶ峰を過ぎたところでお昼休憩、をしていたら急な雨に見舞われ、雨と時間の関係で芝草平湿原まで行けませんでした。

雨の多い山行でしたが、少しでも安く行けるように、コースやスケジュールを考えて頂いたリーダー、4日間の運転をして頂いた男性、共に行ってくれ山行を楽しませてくれたIさん。皆様お疲れ様でした。和気あいあいと本当に楽しい山行でした

玉井 美智子

鳥海山 御浜



蔵王
お釜

